科目名	日常生活を支援する技術Ⅰ	対象学年・時期	１年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	１単位・３０時間
講義概要	ディプロマポリシー３に基づく。看護は具体的な看護実践活動を通して果たされるものであり、看護の目標を達成するために看護技術があることを理解する必要がある。日常生活を支援する技術では、看護の対象となる個人が、最適な健康を踏まえた日常生活が営めるようにするために、援助の必要性を考え対象に合った方法を具体的に考える必要がある。看護の実践ができるようになるために、暮らしの中の動作がどのようなからだの仕組みによってなされているのかを知り、科学的根拠を考えながら援助の必要性を理解し、方法を考えられるようにする。また、援助を受ける対象を観察し、対象の気持ちを考えながら援助を行う必要がある。 ここでは日常生活の中で、対象が身を置く「環境」、動作の基本となる「体位・運動」、それとともに生きるために必要不可欠な「睡眠・休息」において、対象や場に応じた援助を根拠に基づき実践できる知識、技術、態度を学ぶ。		
講義形態	講義・演習		
学習目標	１．解剖生理学的な人間の身体的機能に基づいた援助の根拠が理解できる、 ２．対象における援助の必要性が理解できる。 ３．対象を観察しながら援助を行うことができる。 ４．安全・安楽・自立を基本とした援助が実施できる。 ５．演習での患者体験看護師体験を通して、看護師として必要な態度を身につけることができる。		

	授業内容	事前学習・事後学習
学習内容 (授業計画)	１回目　ガイダンス、活動とは、ボディメカニクス	事後学習：身体の部位の名称
	２回目　体位変換	
	３回目　体位変換演習	事後学習：体位変換の練習
	４回目　ポジショニング	
	５回目　車椅子移乗・移送　　※技術チェックあり	事後学習：車椅子移乗・移送練習
	６回目　車椅子移乗・移送演習	事後学習：車椅子移乗・移送練習
	７回目　歩行介助演習（杖・歩行器）	事前学習：杖歩行、階段昇降練習
	８回目　ストレッチャー移乗・移送演習	事後学習：ストレッチャー移乗・移送練習
	９回目　環境とは	
	１０回目　環境整備	
	１１回目　ベッドメーキング演習（下シーツまで）	事後学習：ベッドメーキング練習
	１２回目　ベッドメーキング演習（スプレッドまで）	事後学習：ベッドメーキング練習
	１３回目　リネン交換演習	事前学習：リネン交換練習
	１４回目　睡眠・休息の援助	
	１５回目　終講試験	

使用テキスト	系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ，医学書院
事前学習・事後学習 (学習を促進できる学修)	内容については、「学習内容」を参考にしてください。 演習前には、事前にテキストの該当部分や動画を見て練習をしてから授業に臨んでください。 演習後には、行った技術の練習を行ってください。
評価基準と評価方法	試験で評価する
備考	